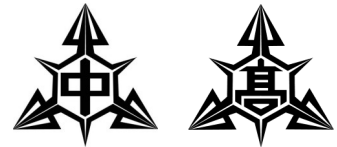


八幡坂の歩み



長崎県立佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www2.news.ed.jp/section/sasebokita-h/>

第2号 令和6年6月28日発行

イノベーションハイスクール

教頭 阿比留 憲一

市中体・高総体が終わりました。キラキラ輝く笑顔、応援での大歓声、ほとばしる汗、あふれる涙…。私たちの心を動かしてくれたみなさんの姿。たくさんの感動をありがとう。選手のみなさんはもちろん、指導してくださったみなさん、取材に奔走してくれたみなさん、熱い声援を送ってくれたみなさん、ずっとサポートしてくださった保護者のみなさん、本当にお疲れ様でした。次は、県中総体・野球部の夏の選手権大会県予選・吹奏楽コンクール・各種コンテスト・上位大会です。また、佐世保北生のキラキラと輝く姿を見ることができると思うと、とてもワクワクします。様々な分野でみなさんが個性を発揮し、活躍してくれることを期待しています！

さて、みなさんもお存じのとおり、令和6年度、佐世保北高校はイノベーションハイスクールに指定されました。それでは、何がどのように変わるのでしょうか。イノベーションハイスクールなので、中学校には関係のないことなのでしょうか。このように、疑問に思うことがなければ、何も考えることなく、いろいろなことに主体的に取り組む機会を逃してしまうことになるのかもしれないよ。「なぜ」を大切にしましょう。配付された資料には以下のように表現されていました。

コロナ禍を経て社会の価値観が大きく変化中、自ら問いを立て自分なりの答えを導き出し、多様な他者と協働できる行動力の重要性が高まっています。

指定校は、生徒が主体となって学ぶ学校風土づくりと、教職員の働き方（働きがい）改革の取組を掛け合わせることで、生徒の意欲や主体性を引き出し、学びや学校行事をイノベート（革新）し続ける、長崎県の教育をリードする学校です。

予測困難な未来社会を切り拓く力の育成を目指し、生徒も教職員も固定観念にとらわれない新しい学校づくりにチャレンジします。

下線部を中心に、私なりに解説したいと思います。

「自分で問いを立て自分なりの答えを導き出し、」とはまさに答えのないところへ向かう「探究活動」ですね。総合的な探究の時間がいかに大きな意味を持っているのかを今一度、全員（生徒・教職員・保護者）で共有したいと思います。「自分で、自分なりの」がポイントになります。そして、「多様な他者と協働できる行動力」はいろいろな人たちの対話や協働を通して知識やアイデアを共有することが自分なりの答えを生み出すことにつながるのだと思います。自分とは違ったものの見方（different perspectives）を知ることがとても大切な経験となります。

「予測困難な未来社会を切り拓く力」って何でしょうか。難しいですね。私もよくわかりませんが、佐世保北の目標でもある「自ら気づき、考え、行動する力」と関係がありそうです。もちろん、それだけではなく、どのような時代であっても変わることなく大切な力（豊かな情操や規範意識、自己肯定感や自己有用感、他者への思いやり、困難を乗り越える挑戦心や物事を最後までやり抜く力、体力の向上や健康の確保など）があってこそ、成立するものなのかもしれませんね。「生徒も先生も」ということで、主語はWeですね。生徒たちと先生たちがともにチャレンジするということですね。なんだかワクワクしますね。

しかし、イノベートするためには時間が必要になります。そのために有効的に活用してほしいのが「ポラリスター」です。その時間に何をやりたいかを考え、何をやるかを自分で決める。その時間を自分のために使う。1日は24時間しかないのに、1日、1週間、1か月の予定を整理して、時間を捻出しなければなりません。そのために、目の前の多くの課題に対して、多様な他者（生徒たちと先生たち、時には保護者のみなさま、地域のみなさま）と対話を通して、新しい最適解を探していくことになるのではないかと考えています。

身近なところで意識してほしいことをまとめましたので、参考してください。まずは、「自己理解」、自分を知ることが意識してほしいと思います。多様な人との対話や協働から自分自身を客観視することも重要だと思います。自分自身の強み（良いところ）を理解しておいてほしいと思います。次に、「自己決定」、いろいろなことを自分で決めるようにしましょう。そうすることで、責任が伴いますので、最後までやり抜く意思が生まれると思います。そして、「自分事」、いろいろなことを自分には関係ないと判断せずに、自分自身と繋げて考えるようにできると素敵です。これらはすべて、「自分」に関係することになります。自分のことですから、当然ですよ。

最後に、常に心がけてほしい2つを紹介して終わります。一つは「リフレクション（振り返り）」です。多くの授業でリフレクションの時間が設定されていると思いますが、そうでない授業でもわずかな時間でも構いませんので、振り返ることを意識してほしいと思います。結果だけに目を向けがちですが、その結果を含めた過程を振り返ってほしいと思います。そのリフレクションから、修正点を見つけることができれば、次のステップへ進めるのではないのでしょうか。もう一つは「言語化すること」です。感覚的に理解する場面もあると思いますが、それを言葉にすることを意識してほしいと思います。言葉にして相手に説明すること、言葉にして何かに書き留めることを習慣にしたいと思っています。感じたことを言葉にして相手に伝える。それをわかりやすく相手に伝える。それをさまざまな場面で行ってほしいと思います。R80に取り組んでみていいのではないのでしょうか…

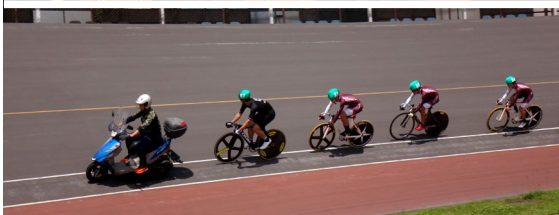
高総体を終えて

保健体育科 岩永 千草

バスケットボール部とソフトテニス部の堂々とした行進から始まった高総体。佐世保北高校選手団はどこの会場でも北辰のように輝いたプレイをしてくれました。男子空手道部が団体組手で6年ぶりの優勝！「団体に強い佐北」と噂されている通り、佐世保北空手道部はチーム一丸となって優勝をつかみ取りました。また、水泳部3年生の原田君は50m自由形で、1年生の松浦君は100mバタフライで優勝、陸上競技部の富田君も5000ウォークで優勝しました。さらに空手道部は個人形で4名の選手がインターハイに出場、アーチェリー競技、自転車競技に出場した選手たちも九州大会・インターハイ出場の切符を手に入れました。まさに佐北旋風が吹き荒れた4日間となりました。

高総体の報告会では、各部の主将がお世話になった方へ感謝の気持ちを告げ、後輩たちには自分たちの分も頑張してほしい、一緒に部活動をするのができて楽しかったと話してくれました。また、私事ではありますが、たった一人の部員と二人三脚で活動してきましたがその時間がとても楽しい時間でした。

これからも佐世保北への熱い応援をよろしくお願いいたします。



市中体を終えて

中学校 運動部顧問代表 沖田 佑介

6月8日（土）から6月14日（金）にかけて、佐世保市中学校体育大会が行われました。6月8日（土）に行われた開会式では陸上、空手道、柔道、水泳、新体操の選手が参加し、本校の代表として堂々たる行進を披露しました。先日の推戴式では、どの部も気合いに満ち溢れ、日頃から支えてくださった多くの方への感謝の気持ちや、最後まで全力で戦い抜く決意を力強く述べました。

大会当日では、これまでの努力の成果を出し、熱戦を繰り広げました。おしくも敗退してしまった部もありましたが、懸命なプレーで観客を魅了し、多くの感動を残してくれました。最終日まで勝ち進んだ軟式野球部の準決勝の試合では、約300名の生徒が吹奏楽部の演奏とともにひとつになり、全力で声援を送りました。

最後に、これまで本校の部活動を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、生徒たちは全力を出し切ることができました。中学3年生の運動部の部活動はここで一区切りを迎えますが、今後も本校の教育活動にご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



スケッチ大会

美術科 桑野 雅嗣

5月30日（木）、1年生は八幡神社、2年生は本校敷地内、3年生は佐世保公園（ニミツツパーク横）を会場に、中学校スケッチ大会を実施しました。前日まで雨が降っており、午前中は曇天でしたが、そのおかげか暑さもだいぶ和らいだ中で制作することができました。1年生は事前に八幡神社に一度訪れ、制作場所をあらかじめ決めていたことから、制作もスムーズに進んでいたようでした。2年生は、校舎内外の様々な場所を、事前に学習した透視図法を用い、悪戦苦闘しながら描いていました。3年生は最後のスケッチ大会を、今までの集大成として、生徒一人一人、思い思いの場所を一所懸命スケッチしていました。

校内審査については、例年同様夏休み明けに実施します。夏休み期間を使って作品をしっかりと完成させてほしいと思います。完成した作品のうち、中学校職員による審査を行い、最優秀賞・優秀賞をはじめとして各賞を選出し、受賞作品は今年度の子ども県展に出品する予定です。



教育実習

高校総務 小田切俊幸

5月13日(月)～5月31日(金)の期間、教育実習を行いました。教科指導、クラス経営、生徒指導、部活動指導と、広範囲に及び学校での教育活動に、それぞれ実習生は、緊張し戸惑いながらも、意欲的かつ真摯な態度で取り組んでいました。実習生の真剣な態度から、その気迫と情熱が生徒にも伝わりました。実習生にはこの経験を糧に、今後の人生に役立ててほしいと思います。生徒も実習生を温かく受け入れてくれました。

25年前の私がそうであったように、北高での実習を経て、教職への想いをさらに強く持ってくれたらと思います。生徒に成長を促し、生徒と感動を共有できる教師という仕事の、他の仕事では得られない充実感や達成感を忘れないでほしいです。教職は本当にいい仕事です！



行事予定(6月下旬～7月)



中学

高校

6月	29日(土)		水4～6授業、 第1回オープンスクール(午後)
7月	1日(月)	⑥⑦校内弁論大会、長崎っ子の心を見つめる教育週間～5日	考査レビュー日、長崎っ子の心を見つめる教育週間～5日
	2日(火)		生徒会役員任命式、野球部壮行式
	3日(水)	⑦フォローアップ	⑦命の尊さを考える
	4日(木)	ポラリスデー、漢字テスト ⑥授業参観、学年懇談会	ポラリスデー、読むビタミン
	5日(金)	読むビタミン、⑤～⑦クラスマッチ	
	6日(土)		高1・2対外実力、高3対外模試～7日(日)
	9日(火)	ポラリスデー	ポラリスデー
	10日(水)	⑦学級専門部会・一斉専門委員会	高1・2⑦対外清掃、高3⑦性に関する講話
	11日(木)	エコロデー・安全点検、中3研究所訪問	エコロデー・安全点検
	12日(金)	⑦ハイパーQU	球技大会
	13日(土)		高3大学別模試、高校野球選手権大会開会式
	14日(日)		高2東北難関大学学習会
	16日(火)	三者面談～26日	三者面談～26日
	17日(水)	ポラリスデー、医学部医学科説明会	ポラリスデー、医学部医学科説明会
	19日(金)	大掃除・終了式・受納式	大掃除・終了式・受納式、吹奏楽・全国大会推戴式
	21日(日)	県中総体～23日	
	22日(月)	特別授業	特別授業
	23日(火)	特別授業、①全校集会	特別授業、①全校集会
	24日(水)	中2自然体験～25日、中3学習会～26日	特別授業
25日(木)		特別授業	
26日(金)		高1校外学習会、高23特別授業 2年修学旅行保護者説明会	
29日(月)		高1校外学習会、高2校内学習会(午前) 高3特別授業	
30日(火)		高1対外実力模試、高2校内学習会(午前) 高3校外学習会、インターハイ空手競技会場使用	
31日(水)		高1校内学習会(午前)、高2対外実力模試/校内学習会(午前) 高3校外学習会	